

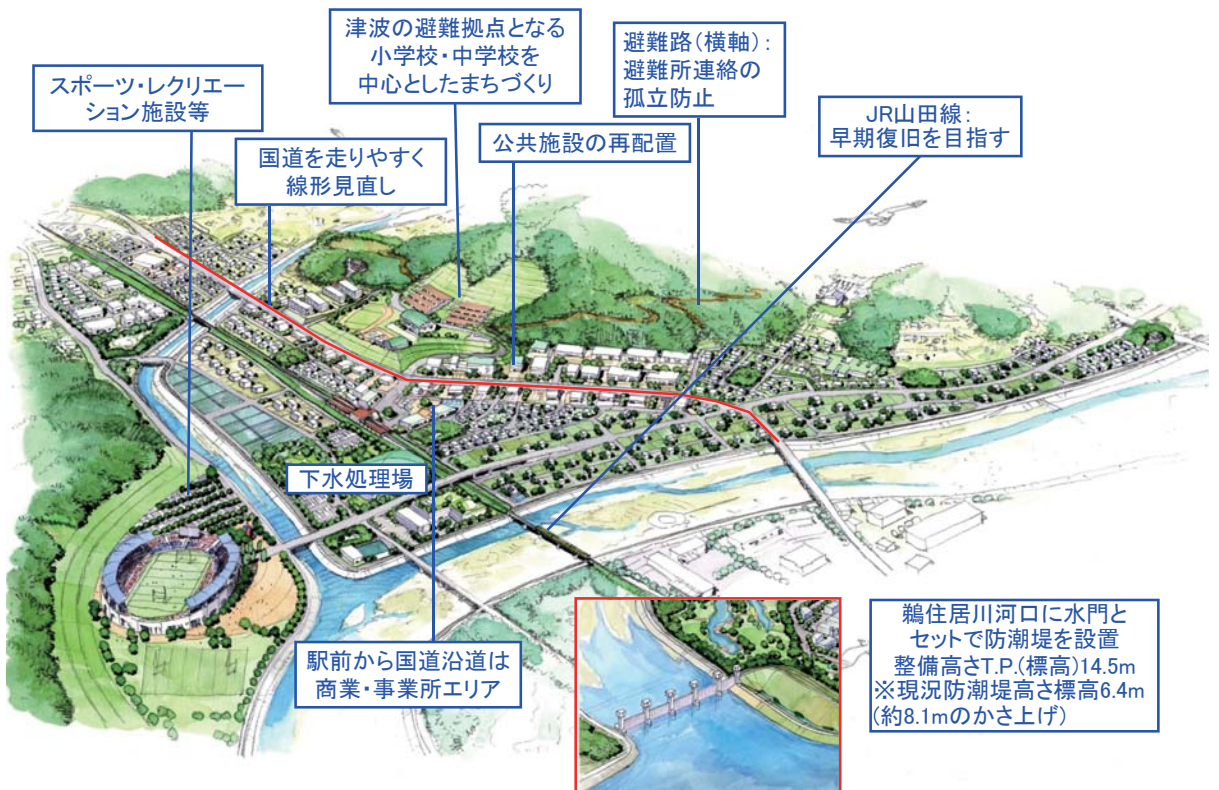
まちづくりの方向性

- **安全・安心の確保**
 - ・市街地は平均1.7m程度嵩上げ
 - ・国道45号を円滑な線形に整備
 - ・水門及び防潮堤(標高14.5m)を整備
 - ・公園は、地域の祭り利用等を想定し配置
 - ・道路整備に併せて、上下水道施設を整備
 - ・宅地が区画道路に接道するように配置
 - ・見守り等地域ネットワークの構築
 - ・路線バス、にこにこバスの再編
- **公共施設の整備**
 - ・安全な高台に整備する小中学校・幼稚園、防災まちづくりの拠点整備
 - ・災害公営住宅は10ヶ所に配置 125戸(集合80戸、戸建45戸)
 - ・被災した市内スポーツ施設の集約やラグビーワールドカップに向けたスポーツ拠点施設の整備
 - ・生活応援センター、集会施設、消防屯所の整備
- **産業の再生、震災メモリアル継承**
 - ・震災メモリアル施設(追悼の広場等)整備
 - ・鵜住居駅周辺を中心とした商業集積、栗橋から箱崎半島全体のにぎわい交流拠点の整備



将来図

実際の施設配置等は、今後の検討・調整により見直しがあります。



土地利用計画図

鵜住居地区



工程表

住宅整備		《復興公営住宅 125 戸》								
事業	内容	予定戸数	工程	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
復興公営住宅建設事業	集合	80 戸	建設工事							
	戸建	45 戸								
土地区画整理事業	宅地整備		造成							
津波復興拠点整備事業	用地整備		造成							
生活環境の整備										
事業	内容	工程	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	
学校建設事業	鵜住居小学校	工事								
道路事業	鵜住居 2 号線	工事								
鵜住居川	水門等 N=1 基	工事								

鵜住居地区

震災前(平成17年撮影)



震災後(平成24年撮影)

